



健康プラザ通信～指導士のみなさまへ～ 令和4年 第34号

シル・リハは今年度で16周年！！ 3月1日号

～大田管理者からみなさまへ～

34. 「団塊世代」を甘く見てはいけません

2025年は団塊世代がすべて75歳以上の後期高齢者になる年です。したがって23年からトップランナーは75歳になります。オミクロン株が増えようと、経済がどうなろうと必ず2025年はやってきます。その数は3年間で800万人を超えているのです。昭和25年生まれも多いのでそこまで入れると1000万人を超えます。その後は第2団塊世代まで急激に生まれる人は少なくなっています。

さて来年度2022年から2025年の4年間の県の総合計画がつくられています。県のホームページで2月4日から18日まで、そのパブリックコメントを求めています。うっかりしていて18日にそのことを知り、急いで目を通しましたが、今まで入ってありましたシルバーリハビリ体操の文字が見当たりませんでしたので、コメントを県に送りました。どうなることかわかりません。ただ全体的に見て、2022年から4年間というと高齢者福祉の目玉の年である2025年問題へのまなざしが薄い感じがしましたので、そのことも意見として述べました。

団塊世代は自分を競争の中に身をさらしながら、日本の戦後を担った強い人たちです。シル・リハ体操指導士さんも団塊世代が大きな役割を果たしています。高齢者が少しでも幸せに老後を過ごせるように、体操を柱として、さらに体操以外の活動にも一歩も二歩も踏み出していこうとしているのです。シル・リハ体操指導士の活動を抜きにして、茨城県の高齢者対策は推進しません。皆さんが組み立ててきた活動を、もっと大きな声で宣伝しましょう。

～健康プラザから～

新たに3級指導士が誕生しました！

221コース・6名(土浦市)、19名(石岡市)、5名(取手市)、6名(つくばみらい市)、4名(城里町)、9名(坂東市)、222コース・10名(水戸市)、14名(結城市)、5名(常陸太田市)が誕生しました。

神栖市は日程を延期しています。

シルバーリハビリ体操 全国オンラインフェスティバルに参加しました！

日本理学療法士協会主催の第2回全国オンラインフェスティバルに参加しました。茨城県からは水戸市、土浦市、健康プラザが参加しました。新型コロナウイルスの感染対策のため、全国の会場では指導士の参加は少なく、事業担当者の方が多かったです。悩みながらも体操教室を開いているという、指導士の皆さんや行政担当者の熱い思いは同じであると、我々もジンとしてしまいました。



DVDを作成しています！

11月29日に実施したフォローアップ研修会と1月12日に開催した「オンライン交流会」のDVDを配布予定です。一堂に会して視聴することは難しいかもしれませんが、学習会や定例会等でご活用ください。

3月の1級フォローアップ研修会は中止します

1日から7日にかけて開催予定でしたが、集合研修としての開催は中止し、代替研修を行います。

～シルバーリハビリ体操川柳～

ありがとう！その言葉が明日を作る (82ちゃん)
寂聴の 孤独を生きる すべを知る(大部廣史さん)

[編集後記]

まん延防止等重点措置の期間が延長され、体操教室は中止しているところが多いようですね。まずは皆さん自身の健康を大切に、シル・リハ体操を忘れないように、今一度テキストを開いてみましょう！(笑)